

ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2013 (LE2013) 開催報告

福岡豊*

*工学院大学工学部 東京都新宿区西新宿 1-24-2
 * Faculty of Engineering, Kogakuin University, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan
 * E-mail: fukuoka@cc.kogakuin.ac.jp

JL 0006/14/5306-0539 ©2014 SICE

ライフエンジニアリング部門シンポジウム 2013 (LE2013) は、2013年9月12日～14日にかけて、慶應義塾大学日吉キャンパスで開催された。LE部門として最初の部門シンポジウムであったが、2013年1月から生体・生理工学部会がLE部門に異動したことに伴い、従前の生体・生理工学シンポジウムを発展させる形での開催となった。

表1にLE2013の特別企画をまとめた。白井支朗先生と南谷晴之先生には、最新の研究成果に加えて、生体・生理工学部会設立当初のエピソードを交えた特別講演をお願いした。LE部門の今後の方向性に示唆を与える意義深い講演であった。LE部門では他部門との連携を強化することを目指しており、LE2013では木村英紀先生に制御・システム科学の観点から見た生命現象について、教育講演をお願いした。敗血症に関する未発表の研究についてもご紹介いただくなど、大変興味深い講演であった。また、木村先生の教育講演に引き続いて、主に制御部門で活動されている先生方に「ライフエンジニアリングにおける制御」というセッションをオーガナイズしていただいた。

LE2013での発表論文を中心とした論文集特集号(和文・英文)を発行予定なので、特集号への投稿を奨励する意味も込めて、大学院生、若手研究者向けの論文の書き方講座を企画した。他学会も含めた論文誌のEditorを歴任してこられた木村裕一先生と藤田欣也先生に表1の題目で講演していただいた。質疑応答も活発であり、好評であった。

生体・生理工学部会では、毎年、シンポジウムでの優秀

表1 特別企画

特別講演 I 白井支朗先生 (豊橋科学技術大学) Personal review for physiological engineering to life engineering: 40 years from TUT, RIKEN to EIIRIS
特別講演 II 南谷晴之先生 (千歳科学技術大学) 情動表出としての表情の豊かさをオプティカルフローで解析する
教育講演 木村英紀先生 (科学技術振興機構研究開発戦略センター) 制御と生命科学
Meet the editors ※IEEE EMBS Japan Chapter と共催 I 木村裕一先生 (近畿大学) 生体医学分野でアクセプトされる論文を書くには II 藤田欣也先生 (東京農工大学) モノづくり論文 ～構成から失敗体験まで～
学生奨励賞選奨特別セッション

表2 研究奨励賞・学生奨励賞選考結果

研究奨励賞受賞者(敬称略)ならびに論文題目: 青井伸也(京都大学) Evaluation of physiological hypothesis of motor control in human walking and running using a neuromusculoskeletal model
学生奨励賞受賞者(敬称略)ならびに論文題目: 中川大輝(東北大学) マウス大脳皮質における緑色自家蛍光の時空間ダイナミクス 芹澤弘和(愛知県立大学) A simulation analysis of the connectivity between retinal cone and ganglion cells

な若手研究者による発表に対して、研究奨励賞を授与してきた。これに加えて、学生のみを対象とした学生奨励賞が新設された。研究奨励賞は、研究業績も含めた応募者の研究が評価の対象であり、学生奨励賞はシンポジウムでの発表も含めて評価した。応募論文の中には優れたものが多数あったが、選考委員会での厳正な審査の結果、2013年の受賞者を表2のように決定した。

上記の特別企画に加えて、10のオーガナイズド・セッション(表3)、13の一般セッションにおいて、109件の講演があった。招待7名を含め171名(一般118名、学生53名)の参加者があり、講演・活発な討論によって、良い学术交流の場となった。この場をかりて、企画運営に携わった委員の先生方、関係者、参加者各位にお礼申し上げる。

LE2014は2014年9月17日～19日にかけて金沢大学鶴間キャンパスで開催される。多くの皆様の参加をお願いしたい。

表3 オーガナイズド・セッション

セッション名	オーガナイザー (敬称略)	件数
光による脳機能計測	岡田英史	4
歩行運動制御の統合的数理モデル	野村泰伸	3
筋音とその応用	内山孝憲	3
低侵襲な循環モニターの開発	上村和紀	5
ライフエンジニアリングにおける制御	東 剛人	5
上肢運動の制御と学習のメカニズム	牛場潤一、野崎大地	5
ライフエンジニアリングとスポーツ科学の融合	伊坂忠夫、塩澤成弘	5
ライフエンジニアリングにおける神経科学の貢献※	飯島淳彦	5
脳神経インターフェースのこれから	林田祐樹	6
神経工学	神保泰彦、高橋宏知、鈴木隆文	3

※日本生体医工学学会 専門別研究会生体信号計測・解釈研究会と共催

(2014年2月26日受付)